

尾鍋社長(尾鍋組)が講演

松阪西部
商工会 事業主ら17人、成功事例学ぶ

松阪西部商工会(岡田辰也会長、275事業所)はこのほど、松阪市飯南町粥見の市飯南コミュニティセンターで「事業主のための経営講習会」を開催した。「地域で頑張る企業から学ぶ」をキーワードに同商工会元青年部長の尾鍋哲也さん(54)が代表取締役を務める(株)尾鍋組の成功事例を17人が聞いた。

同講習会は同商工会エリアの飯南、飯高地域に根ざしながらも全国、世

界に挑戦する身近な企業から経営の秘訣(ひけつ)を学ぼうと本年度から始めた。来年1月には海外進出を遂げた地元企業の経営者らを講師に招く。

今回は、尾鍋さんが「碎石の地盤改良 エコジョエ工法」と題して講演した。エコジョエ工法は公共と民間の土木工事を主に請け負う同社と三重大学が産学連携の共同研究で、2009(平成21)年に事業化した新たな地盤改良技術だ。施工代理店は全国



37社に増え施工実績は今年9月までに全国で4829件。エコジョエ事業は同社の単年度売り上げの

に着目した理由として「公共事業が減ってくる中、土木技術を生かすことができて民間に合った

エコジョエ事業について説明する尾鍋さん(左)飯南町粥見の市飯南コミュニティセンターで

.....

半分近くを占めるまで急成長している。

尾鍋さんは地盤改良

新たな市場だった」となどと説明。今後の目標として現在、1%にとどまる住宅地盤改良市場でのシェアについて「30%まで伸ばしたい」と述べた。

同事業では、施工代理店を通して加入金や技術研修費、装置費用、施工ロイヤルティなどが同社に入る仕組み。全施工を「直営化」しない理由の一つとして、各地域に根ざした施工会社や営業、保険コンサルティングなど優良なビジネスパートナーと連携していくことの大切さを説いていた。